

公益財団法人食生活研究会 「平成29年度事業計画」

平成29年度事業は、これまで行ってきた研究助成事業、留学生支援事業及び講演会を継続して行う。

1. 研究助成事業

平成29年度は、従来から基本としている自然科学系11件、人文科学系2件の計13件に、その他研究補助1件の合計14件とする。

なお、助成総件数は前年度と同じである。

平成29年度助成候補者は、2月1日開催の選考委員会で決定した以下の者とする。

① 研究助成 13件

No	氏名	機関名	研究テーマ
自然科学系			
1	まるやま のぶゆき 丸山 伸之	京都大学大学院農学研究科品質設計 開発学分野 准教授	小麦タンパク質のアレルギー症状 を誘引する特殊な分子構造の解明
2	まつしま りょう 松島 良	岡山大学資源植物科学研究所 准教授	新しい形と性質を持つ澱粉粒の 開発
3	おおいし かつたか 大石 勝隆	国立研究開発法人産業技術総合研究 所バイオメディカル研究部門生物時 計研究グループ 研究グループ長	幼少期の食リズムの乱れが成熟後 の肥満を引き起こす分子メカニズ ムの解明
4	しばた たかひろ 柴田 貴広	名古屋大学大学院生命農学研究科応 用分子生命科学専攻生命機能化学講 座 准教授	抗炎症作用を有する食品成分の探 索とその作用機序の解明
5	ふじい ともゆき 藤井 智幸	東北大学大学院農学研究科生物産業 創成科学専攻 教授	豆乳コロイドの安定性に関する 研究
6	こやま ひろふみ 小山 浩史	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 医化学分野 講師	食欲調節ペプチドホルモン受容体 を介した食欲調節機構の解明
7	えがわ たつろう 江川 達郎	京都大学大学院人間・環境学研究科運 動医科学研究室 教務補佐員	食事性の終末糖化産物 (AGEs) が 骨格筋収縮機能へ及ぼす影響の 解明
8	うえの しげあき 上野 茂昭	埼玉大学教育学部生活創造専修家庭 科分野 准教授	高圧処理を用いた大麦粉の粘度制 御技術の開発およびメカニズムの 解明
9	さとう ゆき 佐藤 夕紀	北海道大学大学院薬学研究科医療薬 学部門医療薬学分野薬物動態解析学 研究室 助教	食品成分が小腸の機能 (吸収と排 出) に与える影響を視覚的に検出す る新しい系の開発

10	やの まさと 矢野 真人	新潟大学大学院医歯学総合研究科 准教授	セレンウム含有蛋白質の生理的意義の解明および運動ニューロン疾患との関連性
11	いち いくよ 市 育代	お茶の水女子大学基幹研究院ライフ サイエンス専攻 講師	必須脂肪酸欠乏におけるアレルギーの病態制御に関する研究
人文科学系			
1	やました じゅん 山下 絢	日本女子大学人間社会学部教育学科 准教授	子ども期における「食」の実態と課題:家庭背景および学校における食育に着目して
2	とくだ かつみ 徳田 克己	筑波大学医学医療系 教授	食物アレルギーのある幼児の保育ケアに関する保育者向け研修プログラムの開発

② その他研究補助 1件

No	氏名	機関名	研究テーマ
1	たんげ たけし 丹下 健	東京大学大学院農学生命科学研究科 研究科長・教授	国際的展開を目指す産官学民連携型農学研究・教育体制の構築

2. 留学生支援事業

平成29年度留学生支援事業は、以下の3名を支援対象者とし、それぞれに奨学金100万円を支給する。

① コマン・ウィブティ・エムリコさん

(女性、国籍：インドネシア)

- イ. 東京農業大学国際食料情報学部国際バイオビジネス学科2年在籍
- ロ. 1年支給予定

② コウ・シブンさん

(女性、国籍：台湾)

- イ. 東京大学大学院農学生命科学研究科修士課程2年在籍
- ロ. 1年支給予定

③ サシナツチャー・チャムルーンさん

(女性、国籍：タイ)

- イ. 上智大学言語教育研究センター在籍予定
- ロ. 1年支給予定

### 3. 講演会

講演会は10月3日(火)午後 クラブ関東において昨年同様に講師による講演2題と、28年度研究助成した方の中から1名の研究成果発表及び平成19年度から支援をしている東京大学アグリコクーンの活動報告を行う。